

みずほCustomer Desk Report 2020/12/11号(As of 2020/12/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	104.29 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.29	1.2079	126.01	1.3366	0.7435
SYD-NY High	104.58	1.2158	126.73	1.3411	0.7540
SYD-NY Low	104.18	1.2073	125.91	1.3245	0.7426
NY 5:00 PM	104.21	1.2142	126.51	1.3293	0.7536
NY DOW	29,999.26	▲ 69.55	日本2年債	-0.14	0.00bp
NASDAQ	12,405.81	66.86	日本10年債	0.01	0.00bp
S&P	3,668.10	▲ 4.72	米国2年債	0.138	▲1.19bp
日経平均	26,756.24	▲ 61.70	米国5年債	0.384	▲2.23bp
TOPIX	1,776.21	▲ 3.21	米国10年債	0.906	▲3.14bp
シカゴ日経先物	26,715.00	30.00	独10年債	-0.6035	0.35bp
ロンドンFT	6,599.76	35.47	英10年債	0.2000	▲6.00bp
DAX	13,295.73	▲ 44.53	豪10年債	1.0040	▲2.00bp
ハンセン指数	26,410.59	▲ 92.25	USDJPY 1M Vol	5.88	▲0.10%
上海総合	3,373.28	1.31	USDJPY 3M Vol	6.43	0.02%
NY金	1,837.40	▲ 1.10	USDJPY 6M Vol	6.68	▲0.02%
WTI	46.78	1.26	USDJPY 1M 25RR	-0.65	Yen Call Over
CRB指数	161.392	2.47	EURJPY 3M Vol	6.79	▲0.09%
ドルインデックス	90.82	▲ 0.26	EURJPY 6M Vol	6.97	▲0.09%

東京	東京時間のドル円は104.29レベルでオープン。朝方は104.25付近で硬直も中国株の持ち直しや鉄鉱石価格の上昇に資源国通貨のクロス円の上昇が見られるとドル円も104.50まで上昇。その後も104.40台で推移し104.45レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、104.45レベルでオープン。新規材料不足で極めて狭いレンジで横ばいし、104.43レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3362レベルでオープン。英国とEUの貿易交渉が9日の首脳会談で発展しなかったことや、朝方発表された10月実質GDPが市場予想より大幅に減速したことを受けて、一時1.3245まで売られた。1.3298レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は104円台前半でスタート。日本株はさえない動きを見せるも、鉄鉱石価格の上昇を受けて対資源国通貨の円売りがドル円にも波及した結果、一時104.58まで上昇。一巡後はECB理事会の発表を控え、様子見ムードが強まり、狭いレンジでもみ合う。オープン前にECBが政策金利の据え置きやPEPPの9ヶ月延長及び5000億ユーロ拡大を発表するも、市場の予想範囲だったことからドル円は特段反応せず、104.43レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数と継続受給者数がともに予想を大幅に上回るも、特段リスクオフの流れには繋がらなかった。その後、クロス円は底堅い推移を続けるも、ユーロや豪ドルに対するドル売りが重しとなり、104.23まで反落。午後は104.33まで反発した場面もあったが、米金利の低下もあいまってドル売りの流れが再び強まり、104.18まで下落。終盤は小動きとなり、104.21レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.20台後半でスタート。ユーロ円の上昇にサポートされ1.2108まで上昇するが、イベント前の持ち高調整もみられたことから1.2081まで反落。ECB理事会の結果発表後に買いで反応し、1.2118まで上昇後、1.2112レベルでNYオープン。朝方はラガルドECB総裁の記者会見を巡るヘッドラインに上下する展開。ラガルドECB総裁が2023年までインフレ目標を下回ることや、ユーロ高によるデフレ圧力への懸念を示すと1.2100を割り込む場面もあったが、その後はユーロ高をけん制する発言は特段見当たらず、次第にユーロの買い戻しが強まり1.2158まで上昇。買い一巡後は1.2111まで反落するが、ドル売りの流れは午後も継続し、じりじりと上昇。終盤に1.2145まで戻し、1.2142レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

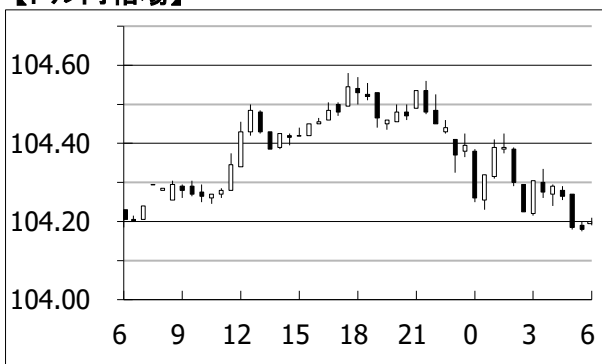
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月10日	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 1.3%/-5.5%	0.3%/-6.4%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 1.7%/-7.1%	0.3%/-8.4%
	21:45	欧 ECB主要政策金利	10-Dec 0.0%	0.0%
	21:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	10-Dec -0.5%	-0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	5-Dec 853k	725k
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/1.2%	0.1%/1.1%

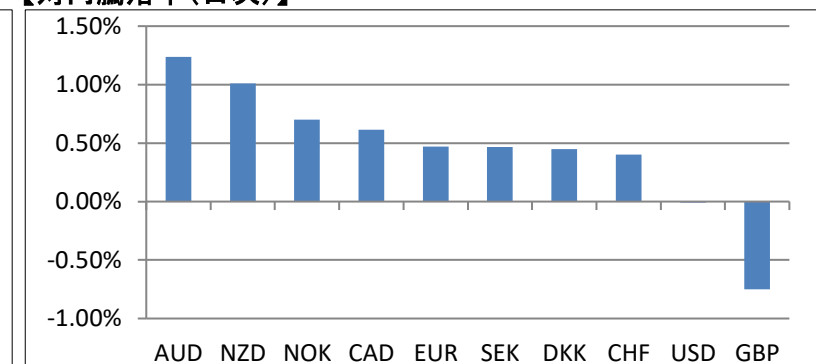
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月11日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -	-0.8%/-0.3%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/0.7%	0.3%/0.5%
12月12日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 76.0	76.9
	01:10	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	02:40	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.90-104.50	1.2050-1.2200	126.00-126.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は104円台前半から104円台半ば付近を推移。海外時間に入り注目のECBは大方の予想通り。ラガルド総裁からユーロ高けん制発言があったもののユーロは上昇。PEPPが拡大されるも「全額使いきる必要がない」との内容がユーロ買いを誘ったがドル円の値動きは限定的。NY時間にはジョンソン英首相から「通商合意なしのEU離脱に備えよ」との発言を受け、米金利と共にドル円も下落し、104円台前半でクローズ。本日のドル円はレンジ相場を予想。昨日の低調な米労働関連指標や米長期金利の低下を背景としたドル売りが継続か。一方で、世界的なコロナ感染拡大の中、リスク回避のドル買いから下値も限定的。ブレグジット交渉の行方に注目しながらドル円は方向感に欠ける値動きを予想。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		7	14